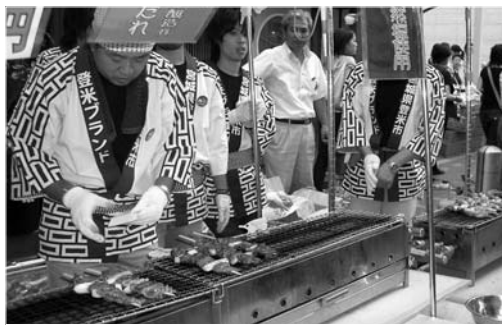


農産物や特産品を広くPR

東京、仙台、追でイベントを開催

市で生産される安全で安心な農産物などの特産品を、消費者との交流を通して広くPRし、販路を広げようという行事が、東京、仙台、そして地元で開催されました。

8月22日から24日まで、東京都港区麻布で「麻布十番納涼まつり」(麻布十番商店街振興組合主催)が開催され、全国から自慢の特産品が出店されました。市では生産者、JAと協力し、登米産牛の牛くしを販売しました。今回が初



好評だった登米産牛の牛くし「麻布十番納涼まつり」

参加ということもあり、市の知名度はあまり高くなかったものの、牛肉の見事な霜降りとおいしさに、登米産牛の評価は上々でした。

また、9月8日から12日まで、県庁の玄関ホールで生産者や小売店など16団体が出展し、登米ブランド認証品や特産品の販売を行いました。約1000人が会場を訪れ、新鮮な野菜や加工品などを買い求めていました。中には、お気に入りの食材を複数購入し



来客でにぎわった県庁玄関ホールでの特産品販売

ようと、期間中二度三度と来訪する人もいました。

さらに、市の食材の素晴らしさを地元で味わってもらおうと、9月13日、「登米市の食材まつり」(登米市食材まつり実行委員会主催)が迫町のホテルニューグランドヴィアで開催されました。市内外から約200人が参加し、米粉の料理講習を体験したり、地元の農産物を使った料理に舌鼓を打ち、市の豊富な食材を満喫していました。



新鮮で豊富な料理が好評の「登米市の食材まつり」

英霊をしのび 平和を誓う

市戦没者追悼式

市戦没者追悼式が8月29日、登米祝祭劇場で行われ、遺族や関係者ら約500人が参列しました。

式の初めに、太平洋戦争などで亡くなった戦没者の冥福を祈り参列者全員で黙とう。



献花して戦没者の冥福を祈る参列者

布施市長が「登米市の発展は戦没者諸英霊のご加護と遺族の支援があったからこそ。戦争の悲しみを繰り返さないために、地球上から一日も早く戦火が無くなるように願いたい」と式辞を述べました。

遺族を代表して、県連合遺族会登米支部長の高橋市治さん(中田)が「終戦から63年の歳月が流れようとしている。われわれの責務として、次の世を担う世代へ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぎ、血潮を犠牲にして築いた平和を永遠に守っていききたい」と追悼の言葉を述べました。



永遠の平和を誓った戦没者追悼式

子どもたちが夢をかたちに

ミュージカル劇団 ドリーム☆キッズ2008公演

市内の児童、生徒によるミュージカル劇団「ドリーム☆キッズ」の第6回公演「風の声がきこえる2008」が9月13、14日の2日間にわた



コミカルな演技に会場は笑いに包まれてました

り、登米祝祭劇場で開催されました。

ドリーム☆キッズは、(財)登米文化振興財団が2002年に結成し、現在は小中学生や高校生まで38人が所属しています。

今回は、精霊との出会いをきっかけに人の温かさに気づき自分の弱さを克服していくといった内容で、団員は5月から練習してきた成果を発表しました。

両日とも会場には大勢の観客が訪れ、感動あり笑いありのミュージカルに、大きな拍手をいつまでも送っていました。



完成度の高い演技に観客はステージにくぎ付けでした

子どもや高齢者の事故防止誓う

市交通安全宣言大会

秋の交通安全運動期間中(9月21日~30日)の9月22日、交通安全宣言大会(市交通安全対策協議会主催)が登米祝祭劇場で開かれました。

佐沼・登米両警察署管内の交通安全団体、老人クラブ、小中学校から約480人が参加。開会后、参加者全員で交

通事故死没者に対し、黙とうをささげました。

市長は「いついかなるときに交通事故の被害者、加害者となるか分からない。市内から交通事故が無くなることを願いたい」とあいさつ。村上清佐警察署長が「今年市内で発生した交通事故で、4人が亡くなっている。事故の根絶に向け、皆さんと協力して事故ゼロの登米市を目指したい」と述べました。

その後、同協議会長の市長から交通安全への貢献をたたえ、佐沼地区交通安全協会上沼支部、登米小学校および個人に表彰状を授与。また交通安全事故抑止功労として南方の中央地区、登米の寺池地区にも表彰状が送られました。その後、中津山と米谷両小学校の代表児童が「子どもたちの



佐沼警察署手島交通課長による暗やみでの反射材の効果実験

願いをおじいさん、おばあさんへ」というテーマで書いた交通安全の手紙を朗読し、最後に参加者全員で交通安全宣言をしました。

また、アトラクションとして、反射材の効果実験や、毎年小学校自転車大会で優秀な成績を収めている北方小学校自転車クラブの模範運転の披露などが行われ、正しい交通安全の知識を学びました。